

1. 件名：北陸電力の志賀原子力発電所2号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年10月12日(水)10時30分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）：

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

野田安全管理調査官、海田主任安全審査官、岩崎安全審査官、

宮脇安全審査専門職、原田安全審査専門職、大井安全審査専門職、

北陸電力株式会社 土木建築部：藤田土木建築部長 他7名※

同 東京支社： 1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所 2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地周辺の地質・地質構造】

7. 既提出資料

第1193回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合 配布資料

- ・ 資料2-1 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について敷地周辺（海域）の断層の評価（コメント回答）
- ・ 机上配布資料1 志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集2（音波探査記録）

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	と、規制庁の宮脇です。
0:00:07	それでは 10 月 6 日金曜日に行われました第 1001193 回市の審査会合で投資、
0:00:17	志賀原子力発電所 2 号炉、敷地周辺の地質地質構造、海域のコメント内容の確認を、
0:00:27	したいと思います。
0:00:29	このコメントリスト先日、昨日届いたばかりなんでちょっと事業者の方から簡単に説明していただけないでしょう。
0:00:41	はい。北陸電力の吉田です。
0:00:44	先週の介護をありがとうございました。それでは、先週の会合のコメント、7、七つ。
0:00:51	まとめてございますので、こちらの方、
0:00:54	一つ一つ君の方から読んでですね、確認させていただきたいと思いません。
0:01:01	はい。北陸電力の木村です。それでは、先週、
0:01:06	10 月 6 日の審査会合での議論ございました、海域の
0:01:12	す。
0:01:14	断層に関するコメントを我々の方で、七つ。
0:01:20	整理しましたので、
0:01:22	以前に、
0:01:23	送付いたしました、こちらの、
0:01:26	1 枚のコメントリストという資料に基づきましてご説明させていただきます。
0:01:32	はい。
0:01:33	一番上からご説明します。
0:01:36	まず、コメントの 67 番、こちら海士岬沖断層体の北東たに関するコメントになります。
0:01:44	内容としましては、事業者は、海士岬沖断層ダイウ部の分岐断層と評価している断層は、地質構造等を踏まえると、三崎沖断層体と一連の構造と考えられる。
0:01:57	また、三崎大城断層体の長さについて、文献では、専門家の合意形成のもと、
0:02:04	18.4 キロメートルと評価されている。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:06	一方事業者は、アオキ作業着断層大の長さを 12.2 キロメートルと評価している。
0:02:13	文献より短く評価するのであれば、明確なデータを示すこと。
0:02:18	明確なデータがないのであれば、評価を見直すこと。
0:02:22	見直すことと。
0:02:23	といったコメントとしてまとめております
0:02:27	次 68 番、こちらは、海士岬沖断層体とNOと半島北部沿岸域断層体の連動の検討に関するコメントになります。
0:02:37	連動を考慮している佐々猿山沖 3 連動、真島沖 1000 年と続き説明前年度 6000 年度及び連動を考慮している。
0:02:47	捧沖断層ダイトウ部、笹川ミユキ断層体制部の連動評価の考え方について、連動を考慮していない、笹波沖断層THAI東部
0:02:58	猿山沖セグメントとの違いを整理して、明確に示すこと。
0:03:03	というふうにまとめております。
0:03:05	続いて 69 番、こちらは連動の検討方法に関するコメントになります。
0:03:11	事業者が連動評価を行うにあたり、地震調査委員会による長期評価を参考として取りまとめているが、事業者は、地震調査委員会が当該評価で連動と扱っていないものも連動と記載しているため、
0:03:26	当該評価に合わせて記載を見直すこと。
0:03:29	また、事業者としての連動の定義や、
0:03:33	地震動評価における断層モデルの設定方法について整理して示すこと。
0:03:38	というふうにまとめております。
0:03:40	続いて、それに関連しまして福浦断層と株という大きい断層、
0:03:44	に関するコメント、70 番になります。
0:03:47	上記コメントNo.69 で整理した内容を、福浦断層と兜岩沖断層の連動の検討結果に反映することと、
0:03:56	しております。
0:03:58	続いてコメントの 71 番、こちらは高岡断層に関するコメントになりまして、トナミ部屋断層体制部の北方に近接して分布する高岡断層について、
0:04:10	評価対象として抽出した上で、カミヤ断層体制部と高岡断層の連動の検討結果、
0:04:18	さらに北方に分布する富山湾西側海域断層との連動の検討結果についても説明すること。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:25	としております。
0:04:26	続いてコメントの 72 番、こちらは能登半島東方沖の断層等の敷地から 30 キロ以遠の
0:04:35	文献断層に関するコメントになります。
0:04:38	能登半島東方沖の断層のように、複数の文献の中から、他の文献よりも短い断層長さを示している文献に基づいて長さの評価を行う場合の考え方を記載することと、
0:04:52	続いてコメントの 73 番、
0:04:55	日こちらひずみ集中体に関するコメントになりまして、
0:05:00	敷地周辺の断層の評価の基礎情報として、文献に示されているひずみ集中体の分布を示すことと、
0:05:08	以上、七つのコメントに整理いたしました。
0:05:12	はい。説明は以上です。
0:05:15	規制庁の宮脇です。どうもご説明ありがとうございました。
0:05:19	最初から、ちょっと一つずつ確認していきたいと思います
0:05:25	67 番の芳賀三崎オギ断層体のコメントですけども、
0:05:30	大体この内容でよろしいかと思うんですが、最後のところで
0:05:38	この文献より短く評価するのであれば明確なデータを示すことと言いたいんですけども明確なデータがないのであれば評価を見直すこと。
0:05:48	というところまではちょっと、
0:05:52	参ったつもりはなかったんですけども、
0:05:55	もう明確なデータがないのであれば、以降ですね。
0:06:00	取っていただいた方がいいのかなと。そういうふう聞こえたのかもしれないんで、
0:06:05	やっぱり強く言ったつもりはなかった。
0:06:11	はい、承知いたしました。
0:06:16	きちっとノダですけど、私も今、宮木さんが言われてて、宮脇もそうですし、私もそうですし、そのあと部長からも、
0:06:26	発言があったんですけど、いえ、我々からは、評価を見直すこと。
0:06:31	ここまでは、少なくとも、言及しなくてもし、もしかしたら、やりとりの中で、御社としてはそこまで受けとめられたのかもしれないんですけど、ここは、
0:06:43	うん。一応、言っ
0:06:45	言っ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:46	たことをベースにやりとりをしたことをベースに書くことかなと思うんで、私もこの明確なデータ最後の一部ですね、明確なデータがないのであれば、評価を見直すことっていうことところは、
0:06:58	取ってもらいたいと思っているんですけど。
0:07:02	いかがですか。
0:07:05	北陸電力の野原です。多少踏み込んで書き過ぎた部分ございますので、おっしゃる通り、最後の部分につきましては削除したいと思います。
0:07:16	以上です。
0:07:25	じゃ、この件については特にはないようですので 68 番のコメント 2 は、
0:07:31	ですけども、ここ、これがですねちょっと、
0:07:35	ちゃんと理解されてるのか確認したいんですが、まずですね
0:07:40	この
0:07:43	連動評価している猿山セグメント安島セグメント、
0:07:48	スズエセグメント、
0:07:50	六甲セグメント、
0:07:51	と連動否定している。
0:07:54	佐々永見大木断層田井東部と政府
0:07:58	との考え方ですね、この考え方、
0:08:03	が違うのかどうかってところを明確にさせていただきたいと。
0:08:09	それ、その上でですねと違うのであれば、
0:08:16	その理由を、と書いていただきたいということなんですけども。
0:08:21	よろしいでしょ
0:08:26	はい北陸電力の野原です。
0:08:28	こちらにつきまして当審査会後の時にも言われたコメントを我々も理解しております
0:08:38	同じように例えば重力のギャップとか、そういったものがあるにもかかわらず、
0:08:43	能登半島北岸の 4 セグメントは、
0:08:47	つなげていますし、笹波東部西部をつなげて、
0:08:50	それに対して、
0:08:54	笹波豆腐とされ側、連動を考慮していない。
0:08:58	あれとしましては文献が読んでいるということを一番の理由としておりますし、
0:09:04	そういったことをしっかり
0:09:08	明記して、資料 2、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:10	記載していきたいと思います。
0:09:12	いかがでしょうか。
0:09:13	つまりその国の評価を踏まえて、あえて連動評価したということによろしい
0:09:21	はい。我々としては国の知見というのが重要ととらえておりますので、その文献の知見、文献の知見というものを
0:09:32	重視しているということをしっかり、
0:09:35	記載していきたいと思います。
0:09:37	以上です。
0:09:38	はい、承知しました。その点は
0:09:41	明確に記載していただくようお願いいたします。
0:09:46	等、
0:09:47	それからですね、
0:09:50	これ以外の類似の箇所です、笹波沖断層田井東部と西部、
0:09:57	は国の評価を踏まえて連動させているということと、
0:10:02	連動否定している能登半島北部沿岸域断層体と、笹波沖断層体、
0:10:08	との関係も同じことが当てはまるので、と同様に、
0:10:14	ん、説明していただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
0:10:19	はい。北陸電力の野原です。サダタニ東部西部につきましても同様に、サビ東部と佐山セグメントの違いについてわかるように資料に記載したいと思います。
0:10:30	以上です。
0:10:31	はい。よろしくお願いいたします。
0:10:40	規制庁の甲斐です私もちょっと改めて確認なんですけどこれちょっと中身の、
0:10:46	確認的なことになるんですけど、結局、この猿山沖セグメントから六甲セグメントまでのこの90何キロのところっていうのは、
0:10:58	いろんな調査結果とか、
0:11:01	連動の検討、何か考慮事項とかに照らしたときに、
0:11:07	事業者の方としては、連動はするというふうな、
0:11:11	強化なのか、本来はしないんだけどっていう評価なのかっていうところが、ちょっとこう、
0:11:18	資料とかを見て、よくわかんなくてですね本来しないんだけど、あえてこう何とか保守的な観点でとか、いうものなのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:31	ちょっとその 289 ページとかの書きぶりがコースな、鳥栖整合するとかってというようなことがあったりとか、
0:11:38	200 は
0:11:40	90 ページ以降も、
0:11:43	91 ページとかは終局は繋がるってというような書き方で、
0:11:49	ここだと連動を考慮してるっていうふうにも、
0:11:53	見えるけどその次のページの重力とかは繋がらないというのが、ついててですね、その辺の考えがちょっと、やっぱ 289 かページから、
0:12:03	よく読み取れないんですね。で、
0:12:07	重力とか地質構造の違いがありますということになって、
0:12:12	だけどこっちは連動しますということになれば、
0:12:16	猿山沖と、
0:12:18	笹波沖のところだって、
0:12:21	結局同じじゃないかっていうことになって、おんなじような状況なのに片や連動してて、片や連動してないというその違いが、
0:12:29	わからないといえますか、
0:12:32	そこら辺がちょっとこうわかるようになっていうことなんですけども、
0:12:37	結局どうなんすか 289 ページに書いてあるところってというのは、
0:12:41	本来は連動しないという考えなんでしょうかとそれとも
0:12:46	やっぱりするんだけど、それと国の評価も整合的だという、
0:12:50	これ、ちょっと言いにくいかもしれないんですけど、
0:12:54	ここどういことが言いたいのかっていうちょっと改めて確認させていただきたいんですけど。
0:13:02	はい。北陸電力の野原です。
0:13:05	衛藤。289 ページに書いてある記載確かに連動を認めているような記載もあるし、そうではないような記載もあるんですが、
0:13:14	我々としてはまず文献を重視していることもありますし、例えば自社で評価した場合の地表トレースといいますのが、
0:13:23	各セグメント、入り組んでいると。
0:13:26	両断層を、
0:13:28	の間にトレースが切れているとか、
0:13:31	そういったことがございませんので、
0:13:33	我々としては重力がギャップがあるのは事実ですが、
0:13:37	地表トレースが連続している状況を踏まえたと、難しいんですが、自社評価からも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:44	連動するものと、
0:13:46	いうふうな評価になるかと思います。
0:13:50	その辺につきましてわかりやすいように、今 289 ページに書いてある記載を、
0:13:55	例えば 474 ページ、3 章の、
0:13:59	検討内容に整理した内容、そういった
0:14:02	内容に整理し直しまして、
0:14:07	そういった形で比較できるような資料を考えております。
0:14:13	いかがでしょうか。
0:14:16	海田です。わかりましたじゃ、今んところはこの四つの
0:14:22	四つの断層ですかねこれ連動する。
0:14:25	ていうところで、ただ、
0:14:27	そこでさらに、
0:14:29	大きな位置付けがあるのが、国の評価っていうのがまあ、かぶってくるという、
0:14:35	そういったようなイメージだったと思うんですけど。
0:14:39	そうであればですねこの今、コメントの 68 に書いてあるように、
0:14:47	片方、おんなじような状況なのに片方は連動してて、下、その端っこの
0:14:55	四つは連動してて、
0:14:57	その一番ニシノ猿山沖と、
0:15:00	さらにニシノ、
0:15:02	笹波沖のところは連動しないという評価で、そこはそこでやっぱり
0:15:08	重力だとか、
0:15:09	なんでしたっけ比抵抗は続かないというような評価なのに、状況が同じなのになんでそんな違いが生じるのかっていうところ、ここはちゃんと資料から、
0:15:21	違いがあるんであればあるし、保守的な観点でっていうところではあれば、そういった評価っていうことで、ちょっとその辺りわかるようになっていて、
0:15:32	資料の方を今後作っていただきたいので、
0:15:36	よろしく願います多分この辺は
0:15:39	わかっておられると思うんですけど念のためちょっと申し上げさせていたいただきました
0:15:47	はい。北陸電力の野原です。ご趣旨わかりましたので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:53	しっかり違いがわかるように項目ごとに整理したものをお付けしたいと思います。
0:16:00	以上です。
0:16:08	規制庁の野田ですけど、野原さん、ご説明ありがとうございました少なくとも、はい御社の
0:16:15	ここの、
0:16:17	ノート版東北弁からの各セグメントの連動の考え方は、改めて確認、
0:16:24	できました。で、もう先に言っときますけどここがあれですよね次回のその審査会合、この海域の断層評価の、
0:16:33	論点になってくると思いますし、
0:16:38	そうですね、先ほど
0:16:43	海田の方からお伝え
0:16:45	した通りなんですけど、
0:16:47	もし、
0:16:48	今ご説明があった通りであれば、笹野、鳥栖猿山沖セグメントと、
0:16:55	笹波沖
0:16:56	断層田井東部、
0:16:58	の、
0:16:59	が連動しないということについては、
0:17:04	しっかり論理構成と、あとは、それを
0:17:09	支持するデータ。
0:17:12	に加えて、
0:17:13	他の評価との、
0:17:15	何ですかね、差別化というか、
0:17:19	整合性をつけながら、差別化するっていう、
0:17:23	多分、あんまり簡単じゃないと思うんですけど、そういう観点で、我々は見ていきたいと思いますんで、それに耐えうる資料を出してもらえればと思いますし、それをベースにまた、
0:17:35	次回の審査会合で議論したいと思います。いいですね3点ですね、論理構成と、それを支持するデータ。
0:17:43	他との差別化をしつつ、整合性もとるという
0:17:47	そういうなかなかハードルが高いと思いますんで、そういうことでちょっと資料の方、
0:17:53	ご検討いただければと思い

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:57	はい。北陸電力の野原です。今ほど言われました3点、しっかり組み込んだ資料の方、今後作成していきたいと思います。
0:18:09	以上です。
0:18:13	規制庁野田ですけどはい。よろしくお願ひします。あと、すいませんこの68番のところで、衛藤左側の区分、
0:18:20	区分のところの、
0:18:22	衛藤断層のところ、これ。
0:18:24	海士岬沖と、能登半島北部沿岸ってなっていて、
0:18:28	これ、
0:18:29	そのミスかね。
0:18:32	北陸電力木村です。そうですね。68番の区分のところ、海士岬沖断層体って書いてあるところ、誤記でございまして、笹波沖断層体の間違いでございまして。申し訳ございません。
0:18:44	いえ、野田ですけど。はい、わかりました。
0:18:47	私からは以上です。
0:18:53	規制庁の宮脇です。
0:18:56	では引き続き、69番のコメントですけども、
0:19:03	これはですね
0:19:07	事業者の検討方針でステップ2の
0:19:12	連動する市内の表現の修正ということと、それから、
0:19:18	地震動評価における断層モデルの設定方法について整理していただくということ。
0:19:24	これは書いてある通りなんですけども、
0:19:27	これに関連する内容ですね
0:19:30	381ページの
0:19:36	この時、事業者の設定方針のステップ3のところの、
0:19:41	この連動評価の検討方法の特にそのなお書き以降の
0:19:46	ところですね。
0:19:47	この辺りの
0:19:50	検討方法についても見直していただきたいと思います。
0:19:55	特にその383ページの、その共役関係にある場合とない場合で、
0:20:01	事業者は整理されているようなんですけども、この辺りについても根本的にちょっと見直していただきたいと。
0:20:08	考えて
0:20:11	この点は

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:13	審査会合では明確に言わなかったんですけどもよろしいでしょうか。
0:20:21	はい。北陸電力の野原です。わかりました
0:20:26	地震調査委員会が、地下で近づくような断層は、一つの断層面にしているっていうことを踏まえますと、特に共役に
0:20:35	頼らなくても、
0:20:37	そういった関係なく、いえるということもございますので、
0:20:41	このなお以降につきましては、
0:20:44	この位置付けであったり、
0:20:46	要約をちょっと、
0:20:50	使わない評価につきましても、検討していきたいと思います。
0:20:56	以上です。
0:20:57	はい。よろしく願いいたします。
0:21:00	引き続き 70 番で、これに関連して、何か
0:21:05	すいません。
0:21:06	海田です。69 番のところでも一応もう、アノのため確認なんですけど、
0:21:14	ます。3 行目、2 行目から 3 行目ぐらいのところ、
0:21:19	地震調査委員会が連動と扱ってないってところ。
0:21:24	それを連動としてるんで、それに合わせて記載を見直すことっていう。
0:21:28	ことなんですけど記載をただ例えば収斂だとか、向かい合うとかっていうふうに直すっていう。
0:21:37	そそうそういう単にそういうことではなくて、
0:21:41	そもそもこの
0:21:43	連動と呼べるもんなんかどうかっていう、
0:21:47	連動させて、普通はそれによって
0:21:51	M0 を大きくするとか、
0:21:53	断層面の形状が変わるとか増えるとか、そういったところで年度、
0:22:01	というふうに大体及ぶと思うんですけど、
0:22:06	そういうもんでなくて、
0:22:09	ということでちょっとその辺からちょっとちゃんと、検討し直していただきたいところなんですけれども、要は断層面の設定に影響が出るもの。
0:22:19	かどうかっていうところなんですけど、そこら辺はよろしいでしょうか。
0:22:25	はい。北陸電力の野原です。
0:22:27	会合でもおっしゃったようにフロー図等示しまして、我々が言う連動というものをしっかり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:36	考えを資料に示した上で、
0:22:38	こちらの 378 ページの記載も、それに合わせたような記載、
0:22:45	整合するような記載に見直したいと思います。
0:22:49	以上です。
0:22:51	はい。海田です。ではよろしくお願ひします。で、
0:22:56	ちょっと例えばですね 384 ページ、さっき宮脇も言っていたところとちょっと繋がりがああるんですけど、
0:23:05	384 ページなん。
0:23:07	ていうのを受けて 385 ページの検討。
0:23:11	されてるんですけど、
0:23:13	384 なんか
0:23:16	藤柏崎とかで、全く同じこの図を出して、どういう検討をしてるかってのは多分、
0:23:23	そちらも把握されていると思いますので、
0:23:27	そういった観点でまたちょっと見ていただけたければなと思いますけれども
0:23:33	よろしいですか。
0:23:37	はい。小栗電力の野原です。柏崎さんの資料も、
0:23:42	再度確認しまして、参考に取り入れるものは取り入れていきたいと思ひます。
0:23:48	以上です。
0:23:56	それでは次、70 番のコメントですけども、
0:24:01	上記の 69 番のコメント等で
0:24:05	整理した内容を、
0:24:07	福良断層と兜岩断層の連動の検討結果に反映さ
0:24:13	これはいいんですけども、これと同じパターンの断層体ですね。
0:24:19	本資料にはないんですけども補足資料 2 系 Z6 と、
0:24:23	石川県、
0:24:26	西方沖の断層についても
0:24:28	同じ。
0:24:30	形状のパターンだったと思ひますんでこれについても同様に、
0:24:34	検討をお願いしたいんですけどもよろしいでしょうか
0:24:39	はい。北陸電力の野原です。地下で近づく断層群が近づくケースにつきましては、同じような記載で統一していきたいと思ひます。
0:24:48	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:49	はい。よろしくお願いいたします。
0:24:51	他あります。
0:24:59	はい。
0:25:00	あとそのたのコメントで 71 番、
0:25:05	もう
0:25:06	とろみ部屋、
0:25:07	とあと 72 番。
0:25:09	73 番まで、特に私からはないんですけども、規制庁側から、
0:25:15	この数
0:25:16	3 件のコメントについて何かコメントは、
0:25:25	市長の野田ですけど、71 番、
0:25:30	トナミ部屋のところは、これも多分趣旨が伝わっ致死は伝わってると思いますんでただ単に記載の問題だと思っていて、タテってところで多分 2 分にした方がいいかなと思うんですよね。
0:25:41	なぜかという、まずはそのとナミヘイヤノ西部と高岡断層、
0:25:48	について、
0:25:51	評価対象とした上で、
0:25:54	連動を検討するんですよね。これがまずステップ 1 ですよ。
0:25:57	で、その結果を踏まえてその結果っていうのは、なぜその結果っていうのが必要かっていうと、もしかしたらこのトナミ部屋と高岡断層が、
0:26:07	連動する場合もあるし、ないしない場合もあるんですよね。で、多分後者だと、Aとしない場合は、多分、追加の検討がいらなくなる。なぜかっていうと、もう現時点でとナミヘイヤ西部と、
0:26:19	富山湾西岸の連動というのは検討してるわけですね、他方で前者だと。
0:26:26	今まで検討していないとナミヘイヤ高岡、
0:26:31	外山っていう、この三つを合わせて検討しなきゃいけない。
0:26:36	私はそう理解しているんで、従って、まずこれ、1 分でそれをですね表現するってのは多分難しいと思いますんで、2 分にした方がいいと思いますし、今お伝えしたような趣旨。
0:26:49	まずはステップ 1 をやる、その結果を踏まえて、本当は多分必要に応じて、
0:26:55	ステップ 2 をどうするか
0:26:57	つまり、三つの連動を検討、必要に応じてその三つの連動を検討するっていう、こういうことじゃないかと考えているんですけど。
0:27:06	よろしいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:10	はい。北陸電力の野原です。今ほど江藤ノダさんおっしゃった趣旨で我々も理解しておりますので、
0:27:18	こちらのコメントの内容、
0:27:21	二つに分けて、修正したいと思います。
0:27:27	はい。以上です。
0:27:29	ノダですけど、野原さんありがとうございますすいません単なる書きぶりの問題だけです。あと、1行目の最後に評価対象というのが裸で使われているんですけど、
0:27:40	これは御社は、
0:27:42	何の評価対象にするっていうこと。
0:27:45	言われていますか。
0:27:51	コピー連絡のキムラです。
0:27:54	評価対象といいますのは、資料の65ページに、
0:28:00	海域の活断層評価フロー。
0:28:03	示しておりますけども、
0:28:06	こちらで、まず、
0:28:09	高岡断層は、我々の方では、規模の大きな断層に該当しないことから、30キロ以遠で規模の大きな断層でないということで、
0:28:19	評価対象にしていなかったんですけども、抽出していなかったんですけども、まずは、
0:28:27	高岡断層も、トナミは断層体と近接して分布するということから、こちらのフローでも、
0:28:35	抽出することにしまして、2章の方で、タカオ断層の個別断層の評価を、
0:28:43	まず、
0:28:46	個別断層の評価結果をまとめた上で、トナミ部屋断層体、
0:28:52	瀬、西部との連動の結果、
0:28:55	それから、台湾との連動の結果を取りまとめるという形に、
0:29:02	にするという趣旨で、まず評価対象とするというのはまずこちらで、2章の方で抽出するという意味で記載しました。
0:29:10	以上です。
0:29:14	規制庁の野田ですけどキムラさんご説明ありがとうございました。聞いてよかったです。これちょっと今、確認したんで、
0:29:24	規制庁側からも何か意見があれば、言ってもらえればと思うんですけど、私は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:31	端的に言うところまでやらなくていいんじゃないか。つまり、2章のところの評価対象2章のところ、
0:29:38	検討対象とする必要はなくてそれはなぜかっていうと、そこは、御社としては30基の家のものについて、30キロ以遠の個別断層について、もう
0:29:51	どういふものを抽出するかというルールを決めているわけで、多分、そのルールにのっとると、この高岡断層というものは抽出されないっていうことを、私は維持した方がいいと思っていて、
0:30:02	この高岡断層をどうやって検討対象に上げるかっていうと、それはトナミ部屋に近接して、高岡断層が分布しているんで、これは
0:30:16	御社のこのIIんとごめんなさい、何章なんだろうなこれ参照なのかな。
0:30:21	3章ですね、追加のエンドウ評価の層位んとごめんなさい近接してるんで、追加の連動評価の対象となるわけですね。
0:30:30	単体で見ると影響がないんで除外されているものの、それは、
0:30:35	隣に近接してるんで、追加れん追加の連動評価の対象となってしまう。
0:30:41	という形で、抽出した方が私はいいいんじゃないかと思っていて、すいませんここはシマアノ規制庁の中でもすり合わせができていないんで、
0:30:51	もし、それがいいとか悪いとか何かご意見があれば、お願いできますし、北陸電力の方からも、何かそこについて、
0:31:01	ご意見コメントがあればお願いしたいんですけど。
0:31:15	北陸電力の野原です。
0:31:19	我々もちょっと悩んでたところでありまして、
0:31:24	2章で、
0:31:26	抽出しないっていう考え維持した方がいいってのは我々も同感といえますか、そういう考えを持っておりますので、
0:31:33	3章の方で、タオカ断層の位置付けをしっかり示して、
0:31:37	3章の中でトナミとタオカの連動についてまず検討するような資料構成にしたいと思います。
0:31:44	はい。以上です。
0:31:48	野原さんありがとうございます。我々の指摘もですね、少なくともそういう趣旨で言っていましたし、今、私がお伝えしたことを、
0:31:58	一応、Cグループのメンバーに聞いたら、
0:32:02	もともとの指摘の趣旨もそうだし、ノダの説明でもいいと言ってくれているんでそういった形でご検討いただければと思いますし、
0:32:13	そういったことが、少しこのそういったこともコメントに反映繁榮修正していただければと思いますけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:24	いかがでしょうか。
0:32:27	はい。わかりました。今の趣旨をコメントの方に踏み込んで、ちょっと表現は
0:32:36	考えますが、趣旨がわかりましたので、コメントの方を修正したいと思います。
0:32:40	以上です。
0:32:43	規制庁野田ですけど、野原さんありがとうございます。はい。私は残り717273。そういったことで、これ私コメントは以上で、
0:33:11	規制庁ノダですけど、そうしましたら、先週のラップアップ。
0:33:17	ということで、コメントリストの方の確認は、当方からは以上ですけど、
0:33:26	北陸電力の方から何かありますでしょうか。
0:33:36	北陸電力の野原です。本店の方からは、特にございません。
0:33:41	以上です。
0:33:49	東京支社の藤田ですが、
0:33:54	大丈夫ですか。
0:33:56	はい大丈夫です聞こえてMaaS。
0:34:00	リストの確認ありがとうございました。最後の高岡断層の扱いについて我々も少し悩んだところがあったんですけども、今やりとりさせてもらって、明確に方向性出ましたんで、
0:34:11	30キロ以遠の独立した小さい断層が、こういう大きい断層の近くに出てきた場合は、こういうふうにするっていうところも含めてわかるような形で、方針みたいのを書けばいいのかなと思うんで、そういったところも含めてちょっと検討させてください。以上です。
0:34:27	ノダですけどフジタさんありがとうございます。はい。そうしていただければと思います。あと、ちょっと気になってるのが、No.68。
0:34:38	さっきの笹波沖と、能登半島北部のところは、
0:34:42	これから検討していただくと思うんですけど、もし必要あれば、面談でちょっと方向性を確認するとか、そういう選択肢もあるかと思えますんで、
0:34:53	そういったことも視野に入れて、ご検討いただければと思います。何か、
0:34:58	1回目ヒアリングやったときに、
0:35:01	ちょっとこれはっていうことを避けるのであれば、事前に面談っていう選択肢もありますんで、念のため事前にお伝えしておきます。
0:35:12	はい。私からは以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:21	はい北陸電力の吉田です。はい。今ほどのこの 68 番のコメントにつきましては、いろいろ趣旨もご理解、理解しましたし、重要なポイントと我々も認識しておりますので、
0:35:34	検討を開始しておりますが、また改めて、面談の面ですね、面談で確認いただくことをお願いするようになるかと思いますが、また改めて、それでは、ご連絡差し上げたいと思います。はい。以上です。
0:35:50	ノダ規制庁ノダですけどヨシダさんありがとうございます。必要に応じて面談も活用いただければと思います。
0:35:59	そうしましたら一つ目の案件はそういったことで、あと 2 点目が、来週の審査会合地下構造評価ですけど、
0:36:09	資料の提出すいません。
0:36:12	今週提出いただき、すでに提出していただいてありがとうございます。それで、来週なんですけど、審査会合、午前午後、豊
0:36:23	予定されていて、御社ですね、1 時間半でおさまるだろうということで午前中になってます。10 時半からです。で、議題番号が一番ということになっ
0:36:35	ていますので、お伝えしておくのと、あと説明時間はこの間もお伝えしました通り、初回の会合ということもありますんで、少し 40 分から 45 分。
0:36:46	丁寧にご説明いただければと思っております。いかがでしょうか。
0:36:57	はい。北陸電力の吉田です。
0:37:00	はい。ありがとうございます。午前中ってこと説明時間。了解いたしました。しっかりですね説明していきたいと思っておりますので、
0:37:10	了解いたしました。よろしく願います。以上です。
0:37:23	ありがとうございますヨシダさん。規制庁野田ですけど。そうしましたら、2 点目の方もよろしければ最後ちょっと、音波探査記録のことを 3 点お伝えしたいんですけど。
0:37:35	よろしいですか。
0:37:39	はい。北陸電力吉田です。はい。よろしく願います。我々は重たさ記録、手元にありますので、
0:37:48	ご指摘、よろしく願います。
0:37:50	以上です。
0:37:52	はい、じゃあ規制庁ノダですけど、ちょっとお伝えします。まず見ていただきたいのが、2-2 の、
0:38:00	2 ページ、2-2-2 ページ、海士岬沖のところですね、音波探査測線図があるかと思うんでちょっとここ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:08	見ていただければと思うんですけど。
0:38:23	ここにありますが、
0:38:27	それで、もう
0:38:29	審査会合資料はもうミナミてるので、もう端的にお伝えするとですね、この
0:38:37	測線、L-15、
0:38:41	万ちょうど海士岬沖の真ん中ですね、L-15。
0:38:44	という測線があつて、これは審査会合資料に入ってます。
0:38:49	他方で、ここに、なことをな、ここにですね同じ測線で、K-15-2 っていう。
0:38:57	次、地震研がやったブーマーの記録があつて、これは具体的には、
0:39:04	2-2 の 10 ページにあるんですけど、
0:39:07	もう端的におおつ、お聞きしますね。
0:39:10	L15 と、K-15-2 という、同じところに二つの測線があつて、少なくとも私はK-15 に地震計のブーマの方が、
0:39:21	圧倒的に情報量が多い、情報量が多いっていうのは、つまりその浅部まで、
0:39:29	変位変形が確認できる音波探査記録になっていて、
0:39:34	例えばここは今まさにその海士岬沖断層体の連続性の議論をしているところで、こういう情報量の多いデータ、
0:39:45	をつけずに、情報量の少ない、
0:39:48	減るの 15 測線をつけた。
0:39:51	理由と考え方を教えてもらっていいですか。これは別に私は、もう終わったことなんで今回のことはしょうがないと思っているんですけど、今後の議論する上で、
0:40:01	こういう資料の出し方は、我々とても困っていて、なぜかというと、
0:40:07	我々がす、この隅々まで、そういった観点で全部チェックしなくちゃいけない。いやチェックはしますよ。するんですけど、一義的にはそういったことは、事業者がやって、
0:40:17	出すべきだと私は思っているんで、今後のことを考えて、お伝えしてますし、これはちなみに私じゃなくて、海田さんが見
0:40:27	こういったことをですね、見つけてくれて、私もそういった目で全部見て他にもいくつかあるんですけど、とりあえず代表的なものとしてこれをお伝えしたいんですけど、この点いかがですか。
0:40:41	北陸電力 1 社です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:43	ですね、これは別に意図してつけてないということではなくてですね、L15とK15にほぼ同一測線ということで、片方をつけるという、
0:40:56	形で、今ちょっと、
0:40:58	記載をしています。実際L15を選んだ理由としましては、
0:41:05	こちらの方はちょっと浅部情報という意味でこちらの方が鮮明だったので、
0:41:10	こちらをつ選ばせていただいたんですけども確かにおっしゃるように、この辺り深部を、
0:41:17	深部情報をかなり重要視していた議論をしていたので確かにおっしゃるように計15-2の方が、
0:41:25	それが両方つける方が本当は適切だったかと今思っております。以上です。
0:41:32	規制庁の野田です。理由はわかりました。すみません。それは、
0:41:41	もし意図してないということであれば、私は、
0:41:46	御社の技術力がその程度だと私は認識しました。
0:41:53	それは日進月歩というか、一石一朝一夕にできることではないんで、これは御社もそうですし、我々もそうですけど、
0:42:03	こういったことを教訓として、やっぱりお互いに技術力を高めて、それが我々が目指す最終的に目指すその原子力の安全の確保、
0:42:14	供用期間中の原子力の発電所の安全の確保という、そういう最終目標に、
0:42:21	を達成するために、やっていくことかなと思いますんで。はい。理由はわかりましたけど、ちょっと私は残念でした。はい。
0:42:32	で、何で我々が、
0:42:35	ですね、K-15-2に、
0:42:38	2-2の中のK-15-2にこだわるかということですね。
0:42:42	ここは、御社は、
0:42:45	海士岬沖断層体を推定してるわけですよ。上で、僥倖マークの…ということでこれは多分、少なくともこれを見た限りでは私は当局があるとは思えないんですけど。
0:42:56	御社は、前後のスーパーカーの記録を見て、前後にあるんでこの真ん中のやつも推定してるっていうそういうロジックだと思うんですよ。
0:43:07	他方で、これの一本南側の測線、
0:43:14	これ
0:43:18	一緒。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:21	ね。
0:43:23	同じ地震計のですね、一本前の測線が、K-16、
0:43:31	K-16、
0:43:35	ありましたね。2-2 の 13 ページ、これがああいうのか、2-2 の図 13 ページ、これが、
0:43:43	一本南側の測線で、ここは海士岬沖断層体を確認しています。確かにこれは私が見ても、撓曲があって、
0:43:55	その撓曲の変形がどこまでおよんでるかという、これ多分BIIソウノ、Aとか目までおよんでいるわけですね、Bさん、BIIのかめまでおよんでいる。
0:44:07	で、
0:44:08	さっきの、もう 1 回、そのよ、一本北側の測線、
0:44:21	これ、
0:44:22	ごめんなさい
0:44:25	赤穂ですねK-15。
0:44:26	これ見ると、Bす、B3 層BII層の基底名は、これフラットだと私は思っていて、少なくともこの音波探査記録からは、
0:44:37	撓曲変形は確認できないと私は思っているんですけど、御社、この点、私の意見と同じですか違いますか。
0:45:03	北陸電力の吉田です。はい。今ほど、
0:45:07	奈良さんおっしゃった解釈と、
0:45:10	我々、同じでございます。
0:45:13	はい。野田ですけどありがとうございますってことなんですよ。
0:45:19	こういったことを、先週の審査会合で、
0:45:24	音波探査記録の話までを呼べば、私は正々堂々と公開の場で、別にこれも録音されても全然ハラいいんですけど、お伝えしようと。
0:45:36	思っていたわけで、従って、このですね、
0:45:43	これが 2 点目の話なんですけど、この
0:45:46	音波探査記録で見えない断層を、前後の音波探査記録もちろん深部まで見えてるってのはわかりますよ私も、
0:45:55	でも、
0:45:56	こういう、
0:45:57	何だろうな。
0:45:58	断層の評価の仕方って、
0:46:01	私は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:03	適切じゃないんじゃないかと思っているんで、
0:46:07	ちょっとこれは、もう、
0:46:10	海士岬沖
0:46:11	の北端っていう意味では、ほとんど先週の審査会合で決着はしていると私は思っているんですけど、他方で、
0:46:21	海士岬沖断層体もそうですし、あとですね、同じようなのが、
0:46:27	もう1ヶ所あるんですよ思い箇所とかですね例えば他の他の断層でもあるんですよこれ。
0:46:34	新野。
0:46:35	13-27 ページ。
0:46:38	これは、
0:46:40	能登半島北岸の断層体の東端の方なんですけど、同じように、2-13-27 でも、これ、こういうすね、推定断層みたいのが引かれてる。
0:46:52	わけで、これのいけないところは何かっていうと、この人はですね、音波探査記録、
0:46:59	の測線図がごめんなさい2-13-3 ページ、13-3 ページ。
0:47:04	音波探査測線図を見ると、これ多分すね、
0:47:08	断層印がついてないんですよこれは、
0:47:12	確か。
0:47:16	推定断層で片や
0:47:18	海士岬沖はああいった形で断層があるかのように、音波探査記録、測線図のところでき示されている。
0:47:25	こっちは示されてない。
0:47:27	うん。
0:47:28	ちょっと私こういうのはいかがなものかなと思うんですよね。
0:47:36	私は、見ましたよ。そういった目で、
0:47:39	全部、
0:47:40	それは私がもちろんやりますよそれは、規制当局として審査側とする側としてももちろん性善説に立ってみますけど、
0:47:50	何かあれば我々は成績説明責任を産んで見るんですけど、でもそれは私は一義的には、
0:47:58	事業者がやるべきことだと思っているんですけど、この点はいかがですか。
0:49:05	東京支社の藤田ですけども、
0:49:09	要するにさ、マイク入っていないんでね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:13	ヨシダです。
0:49:15	聞こえますヨシダさん。
0:49:19	もう一度よろしいでしょうか。
0:49:24	すいません保存のヨシダですが聞こえておりますか、今聞こえましたどうぞ。
0:49:30	はい。すいません。マイクがもう一度、今ご指摘いただいた点について、私の方からご説明いたします。まず最初の形の、
0:49:40	受
0:49:43	アノフクダ測線を提示しなかったという話。ここについては、海士岬断層体の北部が、当初、1回目のヒアリングからですね、大事なポイントとしてご指摘を、
0:49:54	いただき、ご確認をいただいていたんですが、こういう大事なデータを載せていなかったというのは、
0:50:02	弁解の余地がございません。そこは、
0:50:06	もうヨシモト謝罪いたします。しっかりその辺の、
0:50:10	ことは、肝に銘じて、これからはすべてのデータを、あるものはしっかり載せていきたいということで、深く反省してございます。
0:50:19	2点目の、この断層マークとして、撓曲マークというのは、
0:50:25	これについて我々しっかりしたルールを持ちながら、変えております。
0:50:30	具体的には断層であれば、そのパターン境界アノズレ断層の位置というのを直上の海底面の位置まで伸ばして、一応9東京リース撓曲につきましては傾斜変換点を法線を引っ張っていく。
0:50:43	それが地下であろうが、伸び率であろうが、デイワンだろうがそういったものが地下にあれば、上に延ばすそういうルールで書いております。ただし、大村さんのご指摘の通り、ほかの測線であるであろう。
0:50:56	当局の一応、この浅いところに見えないにもかかわらず、ここに書くっていうのはまず、
0:51:03	お作法の、まずは、間違えてますか、適切ではない、あるだろうと。
0:51:08	いう解釈で書いておりました。やはりこのデータ集ですから、この1枚の紙の記録で、
0:51:16	しっかり見えるところを、
0:51:19	その1枚で書くというのが、もうこれはもう基本的なデータ集の位置付けなものですから、
0:51:25	のはどの、
0:51:27	ご指摘を深く受けとめてですね、これからこういうデータ集、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:31	にかかわらず、すべてですねしっかりしたものを提示していきたいと思っております。
0:51:38	まずは、深くお詫びいたします。申し訳ございませんでした。
0:51:46	きちんとノダですけど、ヨシダさんご説明ありがとうございました。もう、
0:51:52	終わったことはしょうがないんで、こういったことを今後にぜひ生かしていただければと思いますし、少なくとも我々はそういう視点で、審査を
0:52:03	しています。御社に負けないぐらい、幅広く、
0:52:08	全体整合だったり論理構成だったり、そういうことを見ながら、このCグループのメンバーで、審査してますんで、よろしく引き続きよろしく願いできればと思います。
0:52:19	で、私が何でこんなことを言うかというとは実はこれ論理矛盾が起こっていて、どういう論理矛盾かという、仮にこの見えないところでも、この断層を、
0:52:30	認めてしまうんですね。
0:52:32	例えば、これ、審査資料、この間の審査会合資料の 88 ページ。
0:52:40	をちょっと見てもらっていいですか。
0:52:47	ここで、御社は、
0:52:50	少なくともこの審査会合資料では、北端を、このL11-1っていう、産総研のブーマで止めてるんですね。
0:52:59	御社は、ここに、奄美伊佐沖網海士岬沖断層THAIの延長部と言って、こういった形で、変位変形がないんでと。
0:53:11	言った東京構造は認められないと言ってるんですけど、仮に、これちょっと、走向がどっちだろう、東側に触れちゃうと、これ。
0:53:22	今は、88 ページの左、真ん中の 1、上の図で、この
0:53:28	C II 層、
0:53:29	であったり、C、これは何だろう、緑、いや、C II 層だったりそのの上のところて撓曲構造は認められないと言ってるんですけど、これがちょっと、その走向が東にずれちゃうと、
0:53:42	この規定面等、反射面がわかんないところに入ってきちゃうわけなんですよ。
0:53:49	で、
0:53:50	なぜそんなこと言ってるかっていうと、この辺りの断層っていうのは、結構端部が東側に触れるんですね。
0:53:58	見ていただければわかると思うんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:00	そうすると、これはもう端部変えると言っていいんですけど、私はもしこれを維持するのであれば、ここの端部っていうことは、そういう、
0:54:10	層厚の不確かさであったり、この音波探査記録を見ると、止めにならないと、私はそういう見方をするわけなんですよ。従って、こういうその音波探査記録で見えない。
0:54:23	ものを、
0:54:24	見えますというの、
0:54:26	ちょっと、
0:54:27	どうかな。
0:54:28	思っていますんで、こういうところにも矛盾が生じているっていうことを、念のためお伝えしておきますけど、この点はいかがですか。
0:54:40	はい。北陸電力の吉田です。
0:54:43	はい。
0:54:45	おっしゃる通りでございます。この尼崎の
0:54:48	端部ですね、介護野瀬での説明におきましてはこの下のナンバー5 測線、
0:54:54	我々、この流体の性能値こむ位置がですね大きく 200 メートルぐらい大きく落ち込むというのが一つ、奄美産業の特徴という形で、
0:55:04	考慮して、今ほどご指摘のこの上の、
0:55:08	絵の 11-添 11-1。
0:55:11	N11 ですね、いくと。
0:55:13	それほど 200 ぐらいの大きな落ち込みがないということ。ただし、もうおっしゃる通り、そのパターン差が少し散乱層があってしっかり見えないということでも、
0:55:23	この僥倖があるかないか、ただ落差が小さいことを示しておるのをもって、端部としてしまいました。
0:55:31	RIG1 の評価評価もですね、断層端部は、それ相応のしっかりした断層の止め、
0:55:38	要求されるし、我々示していかなければならないというのを、我々知って、対応しておったんですが、
0:55:47	もう正しくこの端部については、今までの端部で、
0:55:52	比較してやはり音響が甘いというのは、
0:55:55	おっしゃる通りでありますので、そこは、
0:55:59	しっかり、
0:56:00	今ほどいただいたコメントも踏まえて、SPARTの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:03	記録ですね、しっかり端部を、
0:56:06	評価していきたいと思っております。ちなみに会合でも申しましたが、しっかり、
0:56:12	今の断層ですね、隆起内部の断層とノー一体性というのが、やはり可能性ありますので、
0:56:17	その流体内部の断層に、森崎の方につなげていって、そこでのしっかりした端部、それをまずお示しして、今後お示ししていきたいと思っております。はい。以上です。
0:56:31	野田ですけどヨシダさんありがとうございます。そういうわけで、今のところは直接的には多分影響はもうないと思うんですけど、もし、仮にですよ。この端部のところが、継続審議とか、
0:56:44	継続審議ってか、引き続き議論することになると、そういった
0:56:50	もっとその音波探査記録まで含めて、
0:56:53	音波探査記録の一つ一つの
0:56:55	断層だったり、東京構造の評価、あとはそのこの
0:57:02	浅部で見えてるもの深部で見えてるもの、その連続性ですよ。その3次元的に多分、3次元がいいのか、3次元的に多分、評価していかなきゃいけなくなってそういったところで、
0:57:13	今お伝えしたような、見えるもの見えないもの、そういったものも含めて評価したときに、他との整合性がとれているのかと、そういう視点で我々は、
0:57:23	見ざるをえなくなる場所だったんですけど、そこははい。多分議論する必要はないかと思うものの、他方で、データ集、
0:57:35	の方であったり、今後、審査会合資料を出すときは少しそういったことも反映させて出していただければと思います。
0:57:45	あとはですね、資料集数これ最後なんすけど 220、ごめんなさい、2-2-2 ページですかねさっきの奄美湯浅沖断層隊の測線図のところに帰っていただければと思うんですけど。
0:58:00	これはですねここをちょっと例にお伝えするんで海田さんもし追加あればお願いできればと思うんですけど、ちょっとこの左下のですね、判例。
0:58:10	これがですねすいません。私は理解困難でして、
0:58:15	例えば、上からいくと、伏在断層、伏在断層の定義って何ですか。
0:58:31	2-2-2 ページの左下の凡例のところに、伏在断層というのが出てくるんですけど。
0:58:37	これは何ですか、定義は。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:41	北陸電力社です。
0:58:43	伏在断層我々も上がる伏在断層としては、地表改定等今回改定になりますけども、海底に現れていない断層という意味で使っております。以上です。
0:58:57	石田さんご説明ありがとうございます、海底に現れていない。それはごめんなさい、音波探査記録。
0:59:03	例えば、そうですね具体的に例えばこの2-2-3 ページ以降でどう、どういったものを伏在断層にしているんですか、それともここにはないものってことですかこの辺がちょっと私理解が悪くて。
1:00:14	北陸電力の野原です。
1:00:17	例えば、海士岬で言いますと、2-2-9 ページ、N-15 測線、
1:00:23	こちらは
1:00:25	ないところには断層、ありますが、
1:00:28	地表、海底には現れてないということで、こういったものを、伏在断層と評価しております。
1:00:35	以上です。
1:00:44	野原さんありがとうございますだから、あれすかまさに、この一つ前で少し議論になっていた、音波探査記録には出てきていないけど、例えば前後の測線から、
1:00:56	ここには断層でがあろうそういうものが、伏在断層としている、2-2 の 9 ページでいうと、真ん中のところに、海士岬沖断層体とって、撓曲…だという、この点点点が、
1:01:12	コガ伏在を意味している、そういう理解で、
1:01:15	正しいですか。石田さん。
1:01:18	北陸電力の野原です。すいません青の点々のことではなくてですね。
1:01:24	赤マークの方です笹波の分岐断層としている場所、
1:01:28	こちらの断層につきましては、
1:01:30	海底地形に変位、断層が現れていないと。
1:01:35	こういったものを伏在断層というふうに評価しております。青い点々につきましては
1:01:41	これはこの記録自体では見えないので、前後から
1:01:46	推定されたものとして書いております。
1:01:48	以上です。
1:01:50	規制庁野田ですけど、わかりました。赤点線ですね…が伏在断層って、そういうことだと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:58	わかりました。
1:02:01	なるほど。
1:02:05	はい、北陸電力の磯です少し補足させていただきます。
1:02:08	この判例の伏在伏在っていいものは、野原、いましたが、海底地形、要するに、そうあります一番上のA層、す。
1:02:19	最終氷期浸食面 1 コウノオガセ
1:02:21	一番新しい地層に変位変形が認められるもの、これを
1:02:26	建材として、それよりもB伴層以下ですね、それに、
1:02:31	変位変形があるものをすべて、
1:02:34	伏在断層という形で、
1:02:37	記載しております。その辺も記載がありませんので、しっかり変えていきたいと思えます。申し訳ございませんでした。
1:03:14	ノダですけどすみませんほんと理解が悪くて、例えば今野原さんが 2-2 の 9 ページを例示して、甘ミヤサキオギの分岐断層これは赤点線なんで福崎の私理解できたんですけど、
1:03:26	例えばその左側に海士岬が笹波東部があつて、これ、赤の実線で引かれてるんですけど、これは伏在ですかそれともタダノ断層ですか。
1:03:39	はい。北陸電力の野原です。
1:03:42	ちょっと説明、再度させていただきますと、点線だから不在というわけではございません。
1:03:48	これが点線、
1:03:51	点線というのはもうこれも推定してるわけで、
1:03:53	あ、はい。
1:03:54	3 斜面上。
1:03:56	変位が見えないので点線と書いてるだけです。
1:03:59	A層まで影響がおよんでいるか否かという観点で、
1:04:03	A層までおよんでいないものにつきましては、伏在断層と評価しております。
1:04:07	従いまして 2-2-9 ページにつきましては、
1:04:09	点線の赤も、
1:04:11	左側の実線なんかも両方、
1:04:13	伏在断層、
1:04:15	いった評価になります。
1:04:18	以上です。
1:04:20	北陸電力石田です。すいません補足で。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:24	追加させていただきますと、ちょっと海士岬ではなくて笹波沖断層ダイウ部の位置図の方が、ちょっと差がわかりやすくてですね、2-5-2 ページ、お願いします。
1:04:42	西田さんお願いします。
1:04:44	はい。この2-5-2 ページの例えば、笹波沖断層体のこの図でいうと、右下の方に、L1L2L3 測線、
1:04:55	が並んでいて、そこの赤い、赤く書いている、断層マークの方見てもらいますと、
1:05:02	同じで書いてあるものと、
1:05:04	カタカナの頭の字みたいなものを2種類ございます。
1:05:08	実際このコの字で書いてあるものは、先ほどのはら一から言っています。相馬で、
1:05:15	影響がおよんでいて、海底の方まで影響がおよんでいないものについては、伏在断層としてこの字マークを書いていると。
1:05:22	ただ例えばL1 測線ですとか、L3 測線につきましては、あと野地高野と野地のマークを書いています、そういうものについては、A層まで影響がおよんでいるということで、
1:05:32	伏在断層ではなくて、断層として、
1:05:36	区別して、判例を書き上げているということでございます。以上です。
1:05:43	ノダですけど、石田さん、ご説明、詳細な説明ありがとうございます。よくわかりました。
1:05:51	はい、了解しました。なるほど。
1:05:56	はい。すいませんヨシダですが、すいません、遅くばかりで補足させていただきますと、あと断面図で、断層の位置に実線で
1:06:04	実線で赤が引いてある線と点線だけが引いてる線があります。
1:06:10	これについても、まず実線の方は、
1:06:14	まずパターン境界日のB層なり、C層なりの、
1:06:18	さっきのページ内
1:06:21	食い違いがわかるもの、し深いところまでいっても断層の口がわかるものを実線で書いてます。
1:06:27	あと点線についてはすみません、例えばミナミ9 ページ、すいません、行ったり来たりで、吉田さんもページ教えてもらっていいですか。
1:06:36	はい。
1:06:37	間瀬新野。
1:06:50	開きました2-2-9をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:56	こうっておりますか。
1:06:59	今聞こえました初めて。
1:07:02	はい、すみませんヨシダですが説明いたします。
1:07:05	この断面の画面に映っておりますが、タテで、赤の線が2種類ございます。
1:07:11	右の方が、点線、そして左の方が実線です。
1:07:15	これいずれも、上に断層があります、断層の意思を示してございます。これについては、A層よりも深いところにありますので、いずれもこれ伏在断層です。平面図ではこの字幕の伏在断層です。
1:07:27	しかしこの断面図を見ると点線と実線の2種類がございます。
1:07:31	これについてはまず右の方の点線については、これ海底面のマルチという形で、少し濃い
1:07:39	海底面と同じような、マルチがですね、深部方向にあります。要するにこの位置は、なかなか断層の深部方向の位置が特定しにくいという形で、信頼性が低いという形で点線にしてございます。
1:07:52	あと左の方の、笹波東部の方はですね、下の方の強いOne、
1:07:57	断層面としては不明確なんです、パターン境界、終盤支出境界の緑の線が食い違いがありますので、ここはあるだろうと、断層があるだろうという形でここは実線にしております。
1:08:10	そういう形で、平面的なこの字マークと、その字幕、そして断面的な、こういった点線と実線。
1:08:18	あとは副題とか、現在、その辺の、まずは表記の仕方ですね。
1:08:23	これ整理して、まず最初のページに、
1:08:26	お示しするか、それはしっかり記載のルールかですね、その辺を示していきたいと思えます。申し訳ございませんでした。以上です。
1:08:36	規制庁野田ですけど。吉田さん石田さんご説明ありがとうございます。よくわかったのと、あと、そうなんですよ。吉江さん言われた通り、おっしゃられた通り、
1:08:46	例えば2-2の9ページの例えば点線と赤線のこの定義と違って実はどこにも書かれていなくてそれですいません私が誤解をしている部分も多々あってその点はすいませんちょっと、
1:08:59	お詫びしたいと思えます。他方で、そうですねちょっとこういったところを、冒頭に入れた方がいいかなとかですね。
1:09:10	あとは、どこだったっけな、例えば、
1:09:14	先ほどの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:16	2-2の2ページに戻っていただくと、
1:09:21	左下の凡例のところ、例えば、僥曲ってあって、これがですね、二つあるんですよ。黒い僥曲と、ちょっと細いこれ茶色なのかな。
1:09:32	実はこの違いは何なんだろうとかですね、結構この凡例見ても、さっきの伏在断層のところは解決したんですけど、この僥曲二つ、この違いは、
1:09:44	何だろうとかですね、私なんかは、すみません、よくよく見ていくと、そんなことところが、よく理解できなかつたりしていたんで、ちょっとこういったところも、
1:09:54	含めて、
1:09:56	ご検討いただければと思っていますし、あと補海田さん何かあります。
1:10:11	海田さんも、はい。同じことを言っていましたこの2-2の2ページの左下の凡例の僥曲すねこの二つの違いは何だろうということを書いていました。
1:10:22	ここって、どうですか吉田さん。
1:10:25	石田さん、この僥曲の違い。
1:10:28	北陸電力石田です。
1:10:30	えっとですね、こちら、まず、黒の方はですね、共通凡例といたしまして、
1:10:36	こういうこの時は、いわゆる伏在断層と野地が、
1:10:40	断層
1:10:42	ハンエンがついてるものが、僥曲ということで共通判例としてこれがついていると。
1:10:47	ただこの海士岬沖断層体のこの茶色、この茶色に関しましては、
1:10:54	断層トレースということで、
1:10:57	測線で見つけた例えば、青、
1:10:59	平面図でいうと水色ですとか、黒とか赤、太い黒とか赤で書いているところをつなぐように書くために、今回ちょモトクロだったのがわかりづらいということで、
1:11:10	前回ヒアリングで、茶色、
1:11:13	背負子細い茶色にちょっと変更した経緯ございますけれども、そういった意味で、この細い茶色も判例として出していると。
1:11:21	この海士岬沖断層体につきましては僥曲だけが認められているということでこの僥曲マークのところだけにこの茶色判例があると。
1:11:28	ということでございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:33	石田さんご説明ありがとうございます。わかりました。断層トレースで確かにこの海士岬沖のところは、
1:11:40	撓曲しかないんで、凡例のところでは撓曲だけ、このトレースを示す茶色い細いものが示されていて、だからこれがまた他の断層に行くと、
1:11:51	もちろん断層だったり、伏在断層だったり、連続性のない断層があるんで、そういったものがあれば、こういった細い茶色さんが登場するっていう、
1:12:02	ことで、はい。理解しました。そうですね例えば笹波沖今、例えば2-5-2 ページなんかを見ると、撓曲だけではないんで、
1:12:13	今申し上げたと他の断層も出てくるんで、茶色い細い人が出てくる。
1:12:18	ことですね
1:12:19	わかりました。はい。
1:12:33	ちょっとこの辺りちょっと統一感持って持つように、ちょっと記載を、
1:12:38	それでいいですか、記載の統一化といいますか、ちょっとルールを明確に最初に定めた上で、
1:12:48	このあたりの判例づくり直したいと思います。以上です
1:12:55	石田さんありがとうございます。それで、これですね。
1:13:00	多分、
1:13:01	直すとなるとすごい時間がかかると思うんですね。他方で、私は次回の審査会合この海域のですね、会計の審査会合は、別に遅らすつもりはないんですね。つまりツボクラ巢守ってのは、
1:13:14	例えばこのデータ集ができないから、審査会合をやらないなんて全く考えていないんで、もう多分このデータ集の話と、審査会合資料は切り分けちゃえばいいかなと思ってんですね。
1:13:27	究極的には、このデータ集の整理っていうのは、最後甲斐希衣
1:13:33	敷地周辺海域の断層の評価が、概ね量になるまでに、
1:13:39	ちゃんと整理できればいいんじゃないかなと思ってますし、今の説明でわかりましたんで、そういう視点で見たいと思います。
1:13:49	もし可能だったら、さっき吉田さんが言われた通り、例えばもう、音波探査記録集としてはこれでいいんですけど、何か表紙に凡例のこう定義みたいのを1枚作ってもらって、それだけ差し込めば、
1:14:03	いいんじゃないかなと思うんですけど、その点いかがですか。
1:14:08	はい。北陸電力吉田です。本当にありがとうございます。我々としてもですね、データ種これ音波探査記録は海域の断層評価の、
1:14:18	肝不毛だと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:20	この場探査記録集で、これほど最後終わってこの後、ご質問いただくのは、やはり非常に問題があるデータ集だったかと思しますので、改めてお詫びいたします。
1:14:33	資料は膨大なも膨大ですけど、だけ早急に対応していきたいと思っておりますし、ご配慮いただいた本資料以外の本資料については、
1:14:43	しっかり直してですね直してっていいですかしっかりそれがわかるような形で、
1:14:49	添付させていただきますし並行して、できるだけ早くデータ集も、
1:14:53	修正、見やすくしたいと。
1:14:57	思います。
1:14:58	はい。
1:14:59	なんで、よろしく願いいたします。以上です。
1:15:03	あ、規制庁のオダですけどヨシダさんが当然、
1:15:05	石田さんすいませんすごいお手間をかけてしまうんですけどそういう意味で、短期的なものじゃなくて、少し中長期的な観点で、作業をお願いできればと思うんですけどいかがですか。
1:15:21	北陸電力石田です。承知しました。すみませんありがとうございます。
1:15:25	はい。
1:15:25	もう一度。
1:15:26	先ほどの
1:15:28	続いてですね推定した断層ですとか僥倖ですがああいうものの評価も含めて、もう一度、
1:15:33	全測線見直しましてこういう位置図の
1:15:37	いじる自体もですし、こういう判例もちょっと見直したいと思っておりますし、この判例の定義ですとかそういったものについては、早急に作成しまして、
1:15:45	差し込むような形で入れたいというふうに考えております。以上です。
1:15:51	石田さんご回答ありがとうございます。短期的なもの中長期的なものを切り分けて、やれればと思っておりますし、私はもう見方わかりましたんで、また、
1:16:03	次回の審査会合に向けて、そういった目でですね、審査会合資料とともに、必要に応じて、音波探査記録補修の方も引き続き、
1:16:15	確認していきたいと思っております。
1:16:18	何かありますか規制庁側から。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:33	ありがとうございます。規制庁側からは3点目ですねこの音波探査記録、データ集のほう、以上ですけど、もし御社の方から何か確認とか、コメントとかあればお願いします。
1:16:54	はい。
1:16:55	私本店の方は、
1:16:58	趣旨お願いしましたんで、しっかり対応していきたいと思います。
1:17:02	同じコメントはございません。者の藤さんの方はいかがでしょうか。
1:17:17	東京。
1:17:25	ちょっと音が途切れて聞こえない
1:17:28	ミイと2、
1:17:32	北陸電力吉田です。当社東京支社窪。
1:17:36	里フジタ部長、聞こえますか。
1:17:51	ちょっとお待ちください。先方の電話は小西さん、すいません。
1:18:37	はい。北陸電力の野原です。すいません。1分ほど前から東京支社の回線がちょっと止まっておりまして、
1:18:43	ちょっと
1:18:44	フジタの方から言いたいことありますんでもう少し改善、回復するまで待っていただけますでしょうか。すいません。
1:18:50	野田ですけどハラさん、ありがとうございます。いえ、こちら待つことができますんで、回戦回復するまでちょっと待とうと思います。ありがとうございます。
1:19:58	北陸電力の野原です。
1:20:00	東京支社の方はちょっとまだ改正に繋がらないので、一旦退出して再度接続しますのでもうしばらくお待ちいただけますでしょうか。
1:20:09	野田ですけど、野原さんありがとうございます。承知しました引き続き、このまま待機したいと思います。
1:22:25	MCP。
1:22:28	もう、
1:22:33	あ、東京支社の藤田です。
1:22:35	改善、つなぎ直してんですけど、音声届いてますでしょうか。規制庁野田です。はい届いてますお願いします。
1:22:45	今日の面談ありがとうございました。
1:22:49	途中で、下の方の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:51	回線がちょっと不具合で、2、3分前からちょっと待って最後ニシダの方が、判例をしっかりと作っていくっていうところと、野村さんからおっしゃってた短期的なもの、
1:23:01	中長期的なものを分けてやるっていうところをそこが動いてきたのかなと思いますんで我々一生懸命それに向けて対応していきたいと思いますんで、よろしくお願いします。
1:23:14	規制庁野田ですけどフジタさんありがとうございます。一応、
1:23:18	今日の面談の中では、そういったことで、お互い共通認識が図れたと思うんですけど、また作業されてる途中で何かこう、困ったり、
1:23:30	なんすかね、
1:23:32	悩んだり、あるかと思うんで、そういう時は遠慮なく、また面談してですね、お互いの共通認識を図りながら、少なくともこうなんですかね作業があって、作業に手戻りがない形で、
1:23:46	進められればと思っていますんで、その時はまたご連絡いただければと思います。はい。私からは、そうですね。今日、三つの案件で面談したんですけど、
1:23:58	こちらからは以上ですけど、北陸電力の方から何か、今日全体を通してございますでしょうか。
1:24:08	東京支社の藤田です。こういう例にフジタです。最後に1点今日いろいろご指摘も含めてですね、
1:24:18	先日の会合の確認できましたんで、す今後の作業としましては今月いっぱいシマクボ海域のCの作成ですとか、そういったものがあるのかなと思ってますそれがまたでき次第また、
1:24:32	資料の方なりその前に面談しそうな場合は連絡差し上げて、事前の面談というのをお願いしたいと思うんでよろしくお願いします。
1:24:39	こちらに作業状況をちょっと簡単に申し上げますと、陸域の方をですね、
1:24:45	こちらも並行して今やっています。6日の会合を踏まえて、
1:24:50	年度評価の方針ですとかそこも少し直して、共通化を図るような作業も、ユフも今月いっぱいかけてやっていきたいと思っています。
1:24:59	資料の方の13ページ。
1:25:03	見ていただけますでしょうか。
1:25:10	これも久慈前のまとめ資料の方にですねグレーの網かけしたところに、
1:25:14	陸域の断層のデータも、これちょっとまだ、
1:25:19	詳細なデータを示してもらえ、前の
1:25:21	暫定版のこのデータなんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:25	陸域の方の資料を今作っている。
1:25:31	時にですね、このデータがある程度か確からしくなってきたときにこのデータも見込みたいなと思ってるんですけども、これはホリグチのデータを出した時に、
1:25:40	直せばいいのか、或いは、海域の議論の中でも、このデータがある程度変わるようであれば、このグレーのところを直していった方がいいのかその辺ちょっとお考え聞かせていただければと思ったんですけど。
1:26:11	規制庁野田ですけど、藤田さんすいません、データが。
1:26:15	データによって変わるっていうのはどういった変更具体的にはどういったことを言われてますか。
1:26:26	すいません。実はですねこのグレーの中に、我々今年度評価ということで、具体的に言いますと、
1:26:34	ローマ数字の9番、例えば9番なんですけども、
1:26:38	ここに連動した場合の長さっていうことで、
1:26:43	と、4、
1:26:46	46キロっていうふうに書いてありますけども、これ我々今の評価ですと、56キロというふうに、
1:26:54	していくのが正しいのかなと思ってましてちょっと暫定的な数字が今入ってるところがあつてですね。
1:26:59	こういったところが3ヶ所あったり、
1:27:01	するのと、
1:27:02	推本とかを重視するというので、例えば15番の、
1:27:08	方の断層の中にですね、
1:27:11	ローマ数字の15番野中新居、坪山Hatchっていうのがあるんですけども、
1:27:16	これを西方の中でいくと、大きい断層に含めて、
1:27:21	評価していくっていう形にもしているのでそういうふうに、
1:27:23	ミュキの方では見直すべきかなという考えもあつてですね。
1:27:27	少し後から直すことが、
1:27:29	もうわかってるものについては、今の段階で直した方がいいのかなというのがあるんですがただ、詳細なデータを示す前にこの数字がころっと変わるのも、
1:27:37	どうなのかなっていうのがあつてそこをちょっと相談したかつたっていうところなんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:42	規制庁野田ですけど、具体のご説明ありがとうございました理解しました。それはですね、資料を、
1:27:50	もしこちらに例えばヒアリング資料とかいう形で、
1:27:55	出してもらった後、
1:27:56	であれば変えた方がいいかなと思うんですけど、その前に変えるのは、藤田さんおっしゃる通り、
1:28:02	何で変わったんだよっていうことが、我々もわかんない中で変わっちゃうのはちょっとそれは、お互いにとってあまりよくないかなと思いますんで、変えるタイミングは、
1:28:13	陸域の資料を、我々のところに何らかの形で出してもらって以降に出してもらった以降の断面で直してもらえればと思うんですが、そういう整理でいかがですか。
1:28:26	藤田です。ありがとうございます。文献に基づいて評価を見直したところもあれば、少し作業上の不手際もあってちょっと直さなきゃいけないところもあるので、そこも含めてグレーのところについては、陸域の資料を出した時点で、
1:28:40	しっかりご説明したいと思いますので、よろしくお願いします。確認事項は以上です。
1:28:45	藤田さんありがとうございますノダですけどわかりました。あと、そうだと、13ページ見てて、真ん中あたりにこの右の表の真ん中あたり掲載ページであって、次回以降に説明予定ってなってるんですけど。
1:28:58	多分ここは実は回数ではなくて、陸域キーの、
1:29:03	地質地質構造の中で、敷地周辺陸域の地質地質構造の中で、多分説明予定で、そういう回数ではなくて、当分野の話かなと思うんですけど、この点いかがですか。
1:29:16	北陸電力藤田です。こちらについても陸域の方でっていうことがわかるように記載、修正したいと思います。以上です。
1:29:24	野田ですけどありがとうございます。いえ、承知しました。だから陸域も、今月はないにせよ、来月ぐらいになると、
1:29:36	審査会合に向けたヒアリング
1:29:40	しのための資料が出てくるっていうことで承知しました。一方で、あれですかね、今、海域と、これから来週ですかね地下構造評価が動き出してそこに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:52	陸域も入ってくるってことだと思いますんで我々の中でもちょっとうまくスケジュール管理して、その三つが効率的、かつ、滞りなく、審査が進むように、
1:30:05	スケジュール管理していきたいと思います。はい。以上です。
1:30:11	北陸電力藤田です。野田さんありがとうございます。
1:30:14	出展を出す前にですね先ほどいろいろ議論したところをしっかりと、事業者としてまずやるべきことをやってから、対応していきますのでよろしくお願いします。
1:30:23	はい。ありがとうございますノダですけど、そしたらまた、陸域の資料もそうですし、あとは海域の資料も、めどが見えたら、教えていただければちょっと私の方で、
1:30:33	スケジュール前たの検討をして、またちょっと伝えられるところは、先々の予定、お伝えできるようにしたいと思います。ありがとうございます。
1:30:48	ありがとうございます。
1:30:50	はい。そうしましたらすみません長時間にわたって、本日の面談の方、これで終了にしたいと思います。はい。ありがとうございましたそしてすみません引き続き審査の方よろしく願いできればと思います。ありがとうございました。
1:31:08	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。